

## 平成 30 年度 放射線管理講習会に参加して

帝京大学医学部附属溝口病院 真田大幹

平成 30 年 10 月 21 日(日)、神奈川県放射線管理士部会主催の放射線管理講習会が川崎市立多摩病院にて開催されました。本講習会では、放射線管理の講習(法令や保守点検、被ばく線量管理に関するもの)だけでなく、安全で質の高い医療を提供するための講習(チーム医療やコミュニケーションに関するもの)も含まれており、非常に充実した内容でありました。講習会のプログラムは全 6 題で、午前の部に 2 題、午後の部に 4 題で構成されていました。

### ①「放射線施設の立入検査について」横須賀市保健所 健康づくり課 森田洋郎先生

医療法による立入検査はなぜ行われるか、何処に注意すべきか、について法令を基にご講演いただきました。近年、被ばく線量の管理に関する議論が活発に交わされており、放射線従事者には医療放射線の適正な管理が求められることをご説明頂きました。放射線安全管理についての知識が乏しい私にとって、横須賀市における立入検査のスタンスについてのお話は大変参考になりました。まとめでは、ICT/AI による変革で医療の現場はどのように変わるかお話いただきました。ヒトにしかできない、細かな気遣いや技術が、今後より一層求められていくと改めて感じました。

### ②「立入検査の対応事例 ～帳票管理の一考察～」神奈川県放射線管理士部会 事務局委員 佐伯寿夫先生

帝京大学医学部附属溝口病院の帳票を基に、改善すべき点、注意すべき点をご講演いただきました。手術室一時管理区域設定記録では、「異常被ばくの有無」の項目を設けることで、手術室における医療安全が担保できるとご説明いただきました。帳票を少し工夫することで、管理が適切に行われているかの印象が大きく異なることを学びました。立入検査のために台帳管理を行うのではなく、放射線が適切に管理され、安全であることを保障するために台帳管理を行う。この考え方には大変感銘を受けました。

### ③「安全な医療を目指してチームが実践するノンテクニカルスキル」

横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療安全管理学准教授・安全管理指導者 中村京太先生

人間の身体能力・認知能力には限界があり、どんなに注意していても必ずエラーを起こすということ、そのエラーを防止するためには、適切なコミュニケーションが必要であるをご説明いただきました。ご講演中にありました、バスケットボールのパスを数えるクイズでは、2 回の動画どちらも変化に気付くことが出来ませんでした。一点に集中しているときは周りの変化に気付くことが難しくなるのだと再認識いたしました。ご講演全体を通して日々の業務で当てはまることが多く、大変勉強になりました。

### ④「IVR 室における放射線管理」山梨大学医学部附属病院 放射線部 坂本肇先生

放射線診療従事者と患者の線量管理について、貴重なデータを沢山ご提示いただき、大変勉強になりました。術者の被ばく線量低減の研究では、普段の手技を少し工夫することで有意差が生じるほど、被ばく線量が減少することに衝撃を受けました。確定的影響の発生を防止し、確率的影響の発生を減少させるためにも、普段から強く意識し、放射線防護に取り組んでいきたいと改めて思いました。

⑤「IVR 認定看護師の役割と医療安全への取り組み」

聖マリアンナ医科大学病院 消化器一般外科・GHCU 病棟看護師 藤野絹代先生

血管撮影室での実際のインシデントを例に、医療事故を防止するための取り組みを紹介して下さりました。検査室への患者入れ間違いや穿刺部位の準備間違いは滅多に生じないことではありますが、業務が煩雑になれば起こりうることだと考えられます。忙しいときほどコミュニケーションを大切にし、職種を超えての連携が求められると感じました。また、コミュニケーションは目に見えて残るものではないため、ただ「伝える」のではなく、「伝わる」ように工夫することが必要であると学びました。

⑥「新棟開設に至る経験について」帝京大学医学部附属溝口病院 竹下利貴先生

新棟リニアック開設時に行った作業や反省点を紹介して下さいました。ビーム測定には多大な時間を要し、測定後には大量のデータが手元に残ることをご説明いただきました。開院後の品質管理は同一の条件で行う必要がありますが、細かい条件など全てを一人で網羅することは難しいため、個人の記憶をデータベース化して情報共有・記録しておくことが必要であると学びました。また、想定外のトラブルが発生しスケジュール通りに進めることが難しくなった際は、そこで立ち止まるのではなく積極的にスケジュールを変更し、臨機応変に対応することが必要であると実感しました。

最後になりますが、本年も講習会を企画、運営していただいた神奈川県放射線管理士部会の皆様、会場を提供してくださいました川崎市立多摩病院の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。